

令和4年度 恵庭市立恵明中学校自己評価・学校関係者評価書

校長名	前川 豊志
作成日	令和5年3月1日

1. 学校の教育目標&校訓

<p>恵明中学校教育目標</p> <p>自ら考え、自ら学ぶ生徒 進んで活動し、高め合う生徒 生命を大切にし、思いやりのある生徒</p> <p>(平成9年制定)</p>

<p>校訓 「自己を愛しめ」</p> <p>(昭和50年2月26日制定)</p>
--

2. 令和4年度重点教育目標と身に付けさせたい資質・能力

<p>【重点教育目標】</p> <p>主体的に学び、適切に表現できる生徒の育成</p>



(1) 「主体的な学び」のために身に付けさせたい資質・能力

資質・能力の柱	資質・能力の具体
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・準備、着席、教科ごとの約束等、学習規律 ・継続的な家庭学習等の学習習慣
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習やテスト勉強の仕方等の学習方法の工夫 ・知識や理解、考えなどを自分の言葉で説明する力
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって粘り強く取り組む力 ・自己の学習を振り返って、次につなげる力

(2) 「適切な表現」のために身に付けさせたい資質・能力

資質・能力の柱	資質・能力の具体
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい人間関係を構築するコミュニケーションのスキル ・デジタルコンテンツやアプリ、タブレット等のICT活用能力
思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道の立った論理的な思考力 ・課題や目的、相手等に応じた多様な手段や方法
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな感性と情報モラル ・他者への配慮等の思いやり

3. 学校経営の基本方針

- (1) 組織としてのマネジメント機能を強化し、経営参画や協働体制、同僚性の発揮を促進するなど、機動的な学校運営に努める。
- (2) 生徒一人一人が現在及び将来における自己実現を図ることができるよう、教育活動全体を通じて生徒指導の機能を生かしたきめ細かな指導の充実に努める。
- (3) 身に付けさせる資質・能力をバランスよく育むため、カリキュラム・マネジメントを充実させ、教育課程及び教育活動の検証・改善に努める。
- (4) 教職員としての識見と実践的指導力を高める研究・研修活動の充実に努めるとともに、将来の管内教育の中核を担う人材の育成に努める。
- (5) 学校における働き方改革を推進するとともに、家庭や地域と連携した教育活動を充実させるなど、教育の質の向上に努める。

※「4. 自己評価・学校関係者評価の結果と改善の方策」について、
学校評議委員、関係者の皆さんよりご意見をいただきたいと思ひます。

☆「取り組みの適切さ」「自己評価結果の適切さ」について。
A…適切である。B…まあまあ適切である。C…あまり適切ではない。D…全く適切ではない。

4. 自己評価・学校関係者評価の結果と改善の方策

自己評価の結果				学校関係者評価の結果	
大項目	評価項目	達成状況	取組の適切さ	自己評価結果の適切	自己評価項目、取組の適切さ、自己評価の結果に基づく改善の方策等についての意見等
	小項目				
一 信頼される学校づくりの推進	① 組織としてのマネジメント機能を生かした機動的な学校運営を進める。	3.2	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の増設、生徒数減少により、より適切な対応が可能になると考えられる。 ・コロナからの脱却により創意ある活動が期待できます。 ・大規模校の難しさがあると思いますが、効果的な学校運営に向け、真摯に取り組んで頂いていると感じます ・極めて多忙の中、生徒一人ひとりの豊かな学校生活を実現する学校づくりに敬意を表します。
	② 資質・能力の着実な定着に資する教育課程を検証・改善する。	3.3	A		
	③ 教職員の専門性を高め、ライフステージに応じた研修活動を充実する。	3.3	A		
	④ 生徒・教職員の生命と学校財産を守る危機管理を徹底する。	3.4	A		
	⑤ 生徒個々の教育的ニーズに応じた組織的な特別支援教育を推進する。	3.1	B		
	自己評価に基づく改善の方策(次年度の取組)				
1 マネジメント機能を生かしベクトルを揃えた組織的な学校運営を進める。 <ol style="list-style-type: none"> ①担当業務及び提案事項等の精度を高める校務分掌部会の充実 ②校務分掌間の連携促進と総務部、運営委員会等の充実を通じた組織の活性化 2 資質・能力の着実な定着に資する教育課程を編成・実施する <ol style="list-style-type: none"> ①生徒同士が「対話」によって自らを高めることができる教育課程の工夫・改善 ②身に付けさせたい資質・能力を踏まえた各教科等における指導の工夫 3 教育課題に対応するため、教職員の専門性を高める研修活動を充実する。 <ol style="list-style-type: none"> ①教育課程の改善に結び付ける各種調査等の組織的なデータの分析、共通理解 ②授業改善への実効性を高めるための実践的指導力の向上を図る研修の工夫 4 生徒・教職員の生命と学校財産を守る危機管理を徹底する。 <ol style="list-style-type: none"> ①不測の事態を回避する日常的な安全点検及び安全管理の徹底 ②職員事故の未然防止と服務規律保持の徹底 5 生徒個々の教育的ニーズに応じた組織的な特別支援教育を推進する。 <ol style="list-style-type: none"> ①特別支援教育コーディネーターを中心とした校内研修の実施及び拡充 ②インクルーシブ教育の視点に立った交流及び共同学習の促進 				<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、恵明中に勤務することの喜びを持って子どもたちに接する教師でありたいものです。 ・学校の教育目標、重点などを常に意識し、どうすることが必要かを校務分掌、学年で考えて、具体的の方策を一人ひとりが実践に移すことができるかどうか大切です。 ・開校50周年をどう充実させるかが楽しみである。地域や父母にもどうするのか考えさせてください。案外今のままで良いとの声が多くあるかもしれませんが、そのときは本当にそれで良いのかと反問してみてください。 ・時代に対応した取り組みが必要な一方、とすればマンネリになりがちな取り組みも引き続き必要になりますが、改めてその意義や重要性を再確認し、継続的に取り組まれることを期待します。 	

Ⅱ 確かな学力を育む教育活動の推進	① 確かな学力を定着させるための日常の学習指導を充実する。	3.4	A	A (ご意見をご記入下さい) ・何をどう充実させるのか、その結果をきちんと評価し、次時に繋げさせるサイクルまで考えることが必要
	② 学習習慣を定着させる家庭学習を積極的に促す。	3.1	B	
自己評価に基づく改善の方策(次年度の取組)				改善の方策を進める上での工夫(委員の意見等)
1 確かな学力を定着させるための日常の学習指導を充実する。 ①始・終業時の挨拶や授業中の姿勢、忘れ物など学習規律の徹底 ②「対話」を重視した学習活動を意図的に展開するなど授業改革の推進 2 学習習慣を定着させる家庭学習を積極的に促す。 ①家庭学習時間等の実態把握と継続・効果的な指導の充実 ②クロームブックの持ち帰りを生かした宿題や学習課題等の工夫				(ご意見をご記入下さい) ・授業参観した限り、教師も子どもたちも一生懸命取り組んでいる。楽しい雰囲気での談笑も必要(メリハリある授業) ・家庭学習の内容点検とそのコメント書きは小学校より大量です。各教科担任から出されるのですから、会議等で重複しないように調整できると良い ・家庭での対応にも左右される難しい課題ですが引き続きお願いいたします。 ・一人ひとりの学力向上とともに、ともに学び合う学習の一層の充実を期待します。
Ⅲ 豊かな心を育む教育活動の推進	① 生徒一人一人の自己実現を促す、生徒指導を充実する。	3.3	A	A (ご意見をご記入下さい) ・個性の尊重と全体活動との関連が難しい
	② 豊かな感性や表現力を育む読書活動を充実する。	3.5	A	
自己評価に基づく改善の方策(次年度の取組)				改善の方策を進める上での工夫(委員の意見等)
1 生徒一人一人の自己実現を促す、組織的な生徒指導を充実する。 ①問題行動等に対する組織的な対応と報告、連絡、相談の徹底 ②不登校生徒の状況把握と個々の状況に応じた適切な支援の実施 2 豊かな感性や表現力を育む読書活動を充実する。 ①読書習慣と多様な表現力を身に付ける全校一斉朝読書の実施 ②司書教諭、学校司書を中核とした学校図書館経営の充実				(ご意見をご記入下さい) ・発達障害などの子供や小学校からの不登校生徒への対応には、根気強い取り組みが不可欠です。 ・相互の信頼関係構築が不可欠です。担任ばかりでなく教科担任なども含めて対応したい。 ・感動場面を意図的に設定し、美しいもの、素晴らしいものを直接見せる、触れさせる体験をさせたいものです。 ・教育委員会との連携を一層深めながら進めていただきたい。 ・豊かな心を育むとともに、他者を尊重し共同して物事に取り組むことができるように教育活動を展開することを期待します。
Ⅳ 健やかな体を育む教育活動の推進	① 体力・運動能力の向上に向けた体育活動を充実する。	3.4	A	A (ご意見をご記入下さい) ・規則正しい毎日の生活と、身体の清潔化をベースにして、体育活動を充実させてほしい。
	② 自らの健康を管理、向上させていくための健康教育を充実する。	3.5	A	
自己評価に基づく改善の方策(次年度の取組)				改善の方策を進める上での工夫(委員の意見等)
1 体力・運動能力の向上に向けた体育活動を充実する。 ①新体力テストの全学年実施と結果を活用した体力向上の取組の推進 ②家庭と連携した運動習慣の定着に向けた啓発活動の推進 2 自らの健康を管理、向上させていくための健康教育を充実する。 ①生活習慣等の改善に資する家庭と連携を図った啓蒙的な取組の推進 ②通知等を踏まえつつ、感染状況に応じた新型コロナウイルス感染症対策の実施				(ご意見をご記入下さい) ・継続的な運動を全校的に組み入れてはどうか(朝読書のように) ・一人ひとりに自己課題を設定させる等、毎日の生活に組み入れてはどうか(ラジオ体操、縄跳びなど) ・家庭での対応にも左右される難しい課題ですが引き続きお願いいたします。

Ⅳ 教育活動の効果を高める環境整備の推進	① 落ち着いた学校生活を送るための環境等の美化、整理整頓を徹底する。	3.4	A	A	・校舎内の掲示物（作品掲示）等、整然としており気持ちが良い。
	② 教育活動を支える経理事務を適切に執行する。	3.5	A		
自己評価に基づく改善の方策(次年度の取組)				改善の方策を進める上での工夫(委員の意見等)	
1 落ち着いた学校生活を送るための環境等の美化、整理整頓に努める。 ①自分たちの学び舎や公共物を大切に使う意識と態度を育成する指導の充実 ②学校備品、施設設備の定期的な点検と保管場所等の整理、整頓 2 教育活動を支える経理事務を適切に執行する。 ①教育委員会等と連携した適切な予算の執行 ②学級費や部活動費等、私費会計の適切な執行及び管理・運営				・学校花壇はもう少し ・生徒数が落ち着くと、校舎の有効活用が考えられる。	
Ⅴ 今日的な課題への対応	① 情報を活用し、表現を豊かにする情報教育を充実する。	3.4	A	A	・小中学校の交流をもう少し密にして欲しい。
	② 地域等とともに子どもを育てるコミュニティ・スクールを推進する。	3.3	A		
	③ 9年間を見通した小・中連携教育を充実する	3.1	B		
	④ 北海道アクションプランを踏まえた「働き方改革」を推進する	3.0	B		
	1 GIGAスクール構想を一層推進し、学びを豊かにする情報教育を充実する。 ①ICT等の活用と情報活用能力を高める学習活動の工夫 ②情報モラルの向上や有害情報への対処法などへの理解を深める指導の充実 2 地域等とともに子どもを育てるコミュニティ・スクールを推進する。 ①経営方針や教育活動の成果及び課題等の地域や保護者等に対する理解促進 ②生徒の学校生活の様子や指導方針が伝わる各種たよりやHP等の充実 3 9年間を見通した小・中連携教育を充実する ①経営方針及び年度の重点教育目標、育成を目指す資質・能力の共有 ②地域としてのめざす子ども像を踏まえた教育活動の接続 4 北海道アクションプランを踏まえた「働き方改革」を推進する ①校務支援システムを用いた勤務時間の把握と助言 ②ICT等の積極的な活用など、校務の効率化を図り負担を軽減する取組の工夫				改善の方策を進める上での工夫(委員の意見等) ・コミュニティースクールは更に具体的な活動につなげたい。（部活のサポーターを地域に募る等） ・時代応じた対応も大変ですが、先生同士のコミュニケーションを推進し、全体の対応力の向上につながればと思います。 ・小中連携に一層の充実を目指してほしい。 ・先生方の働き方について、働きすぎが否めない。恵明中だけでできることではないが、改革が必要。校長を始め、先生方は懸命に努力されていると思います。